

■ M7.6の大地震発生を想定した参加者約1万人の大規模避難訓練 ■

**『関大防災 Day2014～広がれ！みんなの安全・安心！～』を実施**  
～ 災害医療現場で活躍する現役医師による『防災講演会』も開催 ～

関西大学では10月21日（火）、総面積が約35万㎡という広大な千里山キャンパスのほか3つのキャンパス（高槻・高槻ミュージズ・堺）で、学生・教職員・近隣住民ら約1万人が参加する大規模な地震避難訓練を行います。

訓練では、授業中にマグニチュード7.6の「上町断層直下型地震」（震度6強以上）が発生したと想定し、学生・教職員の避難から誘導、避難者の安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づき実施します。今回は、「緊急連絡メールシステム」を利用した安否確認を初めて行う予定です。

本学では、学内における防犯・災害等の対策の整備と体制の確立、危機管理マニュアルの整備、安全関係シンポジウム・講演会の開催、地元自治体・警察署・消防署との協力体制の確立など、「安全・安心」づくりに向けた諸活動を展開しています。今年7月には、日本赤十字社大阪府支部と全国初となる「防災教育・啓発パートナー協定」を締結しました。

この大規模地震避難訓練は、2008年から実施しており今年で6回目を迎えます。避難訓練以外にも、災害医療の現場で活躍する現役医師による防災講演会など、防災にかかわるさまざまなイベントをあわせて行います。さらに、近隣連合自治会をはじめとする地域住民の方と一緒に炊出し訓練を実施するなど、昨年同様、地域ぐるみで訓練を盛り上げます。また、千里山キャンパス以外の3つのキャンパスでも、規模に応じた避難訓練・防災イベントを同時に実施する予定です。

記

1 日 時 10月21日（火）【報道受付 11:00～】

(1) 地震避難訓練 11:40～12:10

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導し、安否確認シートを配布・回収。並行して、緊急連絡メールシステムを利用した安否確認を実施。

(2) 防災イベント 11:40～16:10（以下は千里山キャンパスで実施する内容です）

- ・ 防災講演会
- ・ 防災プログラム
- ・ 煙体験
- ・ 消火器使用・消火栓放水体験
- ・ 吹田市危機管理室の取組み紹介
- ・ 炊出し訓練・試食会
- ・ 防災啓発ブース
- ・ 水害時避難訓練
- ・ 避難器具体験

2 場 所 関西大学千里山キャンパス（吹田市山手町3-3-35）ほか

3 参加者 本学学生・教職員および近隣住民約1万人

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、依藤  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266  
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



## ■「関大防災Day2014」開催概要

---

### 【地震避難訓練・安否確認訓練】

(千里山キャンパス・高槻キャンパス・高槻ミュージックキャンパス・堺キャンパス共通)

①地震避難訓練 (11:40~12:10)

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。その後、授業担当者等が各避難場所まで誘導。

②安否確認訓練 (11:50~終了まで)

避難場所において、安否確認シートにて学生の安否確認を行う。並行して、緊急連絡メールシステムを利用した安否確認を行う。これらの実施結果から、安否確認方法の有効性を検証する。

### 【防災イベント】(千里山キャンパス)

①防災講演会 (14:40~16:10) ※別紙参照

大阪赤十字病院国際医療救援部長 兼 呼吸器外科部長の中出雅治医師による講演会。『東日本大震災における災害医療~私の経験~ / 南海トラフ巨大地震への備え』というテーマで講演を実施。

②炊出し訓練・試食会 (9:30~配給実施終了まで)

本学災害用備蓄品のサバイバルフーズを利用し、学生・教職員・近隣住民が協働で約2,000人分の炊出し訓練を実施。来場者に配給を行う。

③防災プログラム (9:30~16:10)

日本赤十字社の協力により、『地域防災力の向上』を目指し、学生及び近隣住民に防災知識と実技を身に付けてもらうための講習会を行う。

④防災啓発ブース (12:00~15:30)

防災への関心を高め、防災意識を共有できるよう、多くの企業・団体に協力いただき、災害対策用品や保存食等を紹介(試食含む)するテントブース(約30張)を設置。大学・学生の防災分野の取り組みも紹介する。

⑤煙体験 (12:00~15:00)

吹田西消防署の協力を得て、テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験することができる。

⑥水害時避難訓練 (12:00~15:00)

実物大ドア模型を用いた浸水時避難体験。実際に浸水した場合、どのくらい水位が上がればドアを開けることができなくなるかを体験することができる。

⑦消火器使用・消火栓放水体験 (12:00~15:00)

消火器を使用しての消火訓練、屋外消火栓を使用して放水訓練等、実際の消火作業を体験することができる。

⑧避難器具体験 (12:00~15:00)

避難器具を使用しての降下避難を体験することができる。

⑨吹田市危機管理室の取り組み紹介 (12:00~15:30)

段ボールベットや簡易トイレ等、吹田市が準備している災害時備蓄の主要な物品について紹介する。



～関西大学・日本赤十字社大阪府支部 防災教育・啓発パートナー協定締結記念～

# 関大防災Day2014 防災講演会

第一部 東日本大震災における災害医療 ～私の経験～

第二部 南海トラフ巨大地震への備え

1. 災害医療がめざすこと
2. 私達市民ができること

【主催】関大防災Day2014 実行委員会

日時

10月21日(火) 14:40～16:10

会場

関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室

講師

中出 雅治氏

(大阪赤十字病院国際医療救援部長  
兼 呼吸器外科部長)



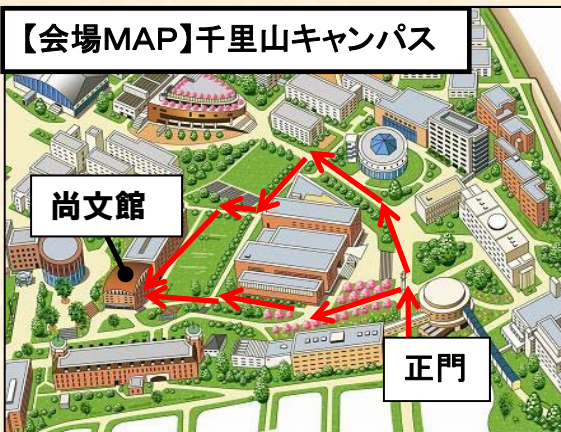
《内戦後のウガンダにて》

## <講師プロフィール> なかで まさはる

国内外の災害、紛争に対する緊急あるいは復興期の医療支援に長年かわり、2006年より現職。

当部署より毎年多くの職員をアジア、アフリカ、中東などへ派遣している。

## 【会場MAP】千里山キャンパス



※参加費不要。聴講自由ですので、直接会場へお越しください。

先着100名様に  
日本赤十字社オリジナル  
グッズをプレゼント!

## <講師からひと言>

日本の災害医療は阪神淡路大震災、東日本大震災を経てドラスティックに変化、進化を遂げています。

東日本大震災での私の経験を交えながら、平時とは違う災害医療のことを皆様にはわかりやすくお伝えします。

また、学生・市民の皆様には是非備えていただきたいこともお話しさせていただきます。

みなさん奮ってご参加ください!